

今月の主な内容

- 4面：学生寮特集
- 9面：関西学生サッカー開幕前特集
- 10面：オープン戦特集



携帯HP

神戸大学ニュースネット

NEWS NET

©神戸大学ニュースネット委員会 <http://home.kobe-u.com/top/newsnet/index.html>  
 関西学生報道連盟共同編集室 〒532-0011 大阪市淀川区西中島3-21-9-502  
 電話06-6307-1315 FA X06-6307-1316 メールnewsnet@kobe-u.com

しらすな会  
 軟式・硬式ピッチングマシン貸出無料!  
 体育館・野球場・テニスコート・その他手配万全!  
**南紀白浜サークル**  
 合宿情報  
 〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町2525-4  
 電話0120-53-1662  
 本紙のみの特典あり!  
<http://www.shirasuna.jp/>

4月号

太陽系に新惑星?

「惑星X」発見の可能性

理学研究科が発表

太陽系に未知の「惑星X」(エックス・仮名)が存在する可能性が高まったという研究結果を、理学研究科のバトリック・ソフィア・リカフィカ研究員と向井正教授が28日、瀧川記念館での会見で発表した。

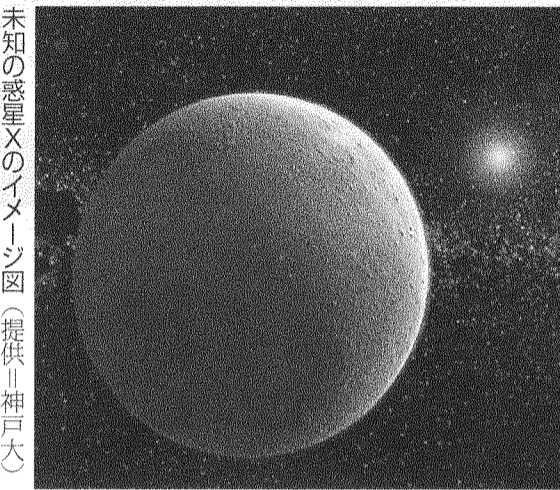
向井教授によるとこの「惑星X」は太陽系外縁部海王星(天王星)に存在し、直径1万1千600キロ(エックス・仮名)が存在する可能性は地球の30〜70パーセント、表面は水に覆われている。生命体の存在する可能性は低いが、惑星ではなく楕円形をしたものが多い。その原因は不明だが、多くは原因は不明とされている。今回の発表は海王星に存在する未知の天体の重力が影響しているのではないか、という考えの中で始まった。

リカフィカ研究員は40億年前にガスの塊から生まれた「惑星X」が天王星と海王星に飛ばされ、その後木星に衝突し、重力により引張られたと仮定。シミュレーションを繰り返した結果「惑星X」の軌道が説明できるように、この日の発表に至った。

発見は「早ければ5〜10年で」されることもあるが「現在の場所が悪ければ50年以上」時間を要する可能性もある。今後はハワイと台湾の施設に協力を要請する方針。

向井教授は「これから観測に対する大きなモチベーションになる」とこの発表の意義について話し、「発見に何年かかるかわからないので、観測に興味を持つ学生がこの研究を引き継いでくれれば」と神戸大の学生にも期待を寄せた。

【塚本京平】



未知の惑星Xのイメージ図(提供=神戸大)

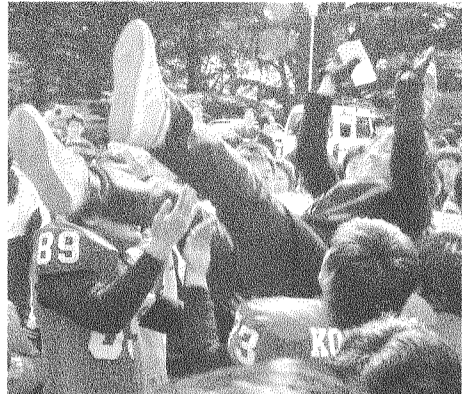
受験生らに春到来

1926人が合格

前期合格発表 神戸大に一足早い満開の桜が咲き乱れた。神戸大の平成20年度前期入学試験の合格発表が3月7日、学内各キャンパスで行われた。11学部で合計1926人が合格し、神戸大生としての新たなスタートラインに立った。

午前10時の合格発表とともにキャンパスを訪れた受験生らは自分の受験番号と掲示の番号を照らし合わせ合格を確認。一緒に来た保護者らと抱き合ったり喜んだ。三田から発表を見に来た受験生は「感無量。ずっと神戸大を狙ってました。大学に入って彼女を作りたいです」と大学生活に胸を弾ませた。

掲示板前ではアメフト部



アメフト部レイバンスの部員らに胴上げされ祝福される受験者(3月7日・六甲台キャンパスで撮影=梅本良恵)

第一回ESDシンポジウムが3月8日から9日にかけて百年記念館で行われた。ESDの推進探るの教員は、具体的な教育方法が存在していない。文科省が社会的要請の強い課題への大学の優れた取り組みに補助金などで支援する「現代GP」に、神戸大は昨年経済・発達・文化同で学生のESDの理解と推進

神戸大で初シンポ

ESDの推進探る

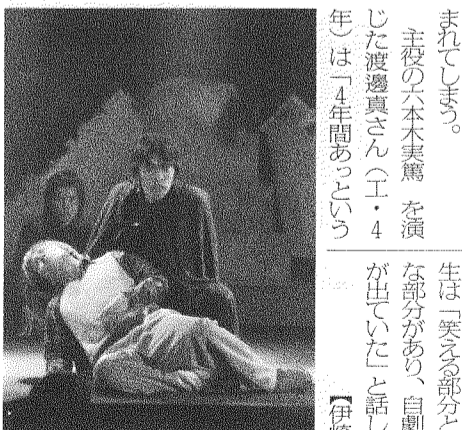
ESDの推進探るの教員は、具体的な教育方法が存在していない。文科省が社会的要請の強い課題への大学の優れた取り組みに補助金などで支援する「現代GP」に、神戸大は昨年経済・発達・文化同で学生のESDの理解と推進

を目的とし、学外組織と連携し持続可能な社会を形成する上での諸課題を考察する取り組みが採択された。取り組みの二環で、このシンポジウムは実施された。

2日目のESDの推進を講義が行われた。神戸大からは人間発達科学研究科の太田和宏准教授、経済学研究所の石川雅紀教授が講演者として出席した。太田准教授は自身が海外

の低賃金労働者が作った冷たい凍マンゴーを神戸市灘区で学生と輸入販売している活動(例)を挙げ、「学生に(活動)を任せ、その責任が与えられる。そうすることで学生は創造性を生み出すことができる」と話す。石川教授はESDに対する意識を世間を持たせることは「メディアなどを用いて伝えざるを得ない」と話した。

【西田健信】



自分自身を切りつけ倒れる六本木実篤(中央)。(3月14日・六甲台講堂で撮影=伊崎春樹)

【伊崎春樹】に大学に入学したときのよう新鮮さは今は無いかもしれないが、これまでの大学生活で得られたものはたくさんあるはずだ。新学年として挑む春に、1年生のときから成長した自分自身にささげたい目標を定めてみてはどうだろうか。

【伊田一平】

法律相談部 今谷さん3位入賞

法律相談部は、創部から50年以上の歴史を持つ。同部は毎週土曜日に神戸市立総合福祉センターで定例無料法律相談を開催。刑事、民法、訴訟中の行政関係の相談を除く身の回りのさまざまな相談を受け付けている。地域に根づく相談の場を目指している。

3月8日には、同志社で行われた第10回新島義記法律相談部入賞コンクールに参加。事前に与えられた論題について約1カ月かけて制作された論旨を発表した。同部の代表として壇上に立った今谷千絵さん(法1年)は、討論を専門としない部にも関わらず、関東関西の強豪校を抑えて見事に3位入賞を果たした。

神戸大の論者として発表した今谷千絵さん(前列左)ら(3月8日・同志社大学新町キャンパス会場で撮影=梅本良恵)



神戸大の論者として発表した今谷千絵さん(前列左)ら(3月8日・同志社大学新町キャンパス会場で撮影=梅本良恵)

「阪神戦」で笑い

落研 やよい寄席

神戸大と阪大の落語研究会による「やよい寄席」が3月12日、神戸学生青年センターで行われた。学生だけでなく、地域住民も集まり、会場には笑い声が絶えなかった。

甲斐やJR六甲道駅付近で告知活動を行ったという。普段から神戸大と阪大の落語研究会は飲み会などで交流はあるが、今回で寄席

苦難乗り越え有終の美

自劇2008年卒業公演

神戸大演劇部自由劇場の2008年卒業記念公演「ヒルグリム」(脚本・鴻上尚史 演出・都賀泰三)が3月14日から16日にかけて六甲台講堂で行われた。連戦を打ち切られた売れないうちの自劇部は、卒業公演を振る返した。公演直前まで六甲台講堂の工事で行けなかったが、深江キャンパスで練習を行い本番に備えた。渡邊さんは「自分たちが受け継いできたものを引き継いでいってほしい」と、卒業生を代表して後輩らへメッセージを送った。昨年4月から毎回公演を見に来ているという海事科学部の1年生は「笑える部を卒業する部分があり、自劇らしさが出ていた」と話した。

【伊崎春樹】

# 硬式野球開幕迫る 奮起の春、始まる

## 新エースに期待 私立大倒して優勝へ

近畿学生野球春季リーグ戦が4月4日に開幕する。6大学による総当たり戦で2試合先勝した大学が勝ち点を得られ、勝ち点の最も多い大学の優勝となる。神戸大は南港中央球場で5日に行われる大教大戦を皮切りに、約1ヵ月間で1部リーグの5大学と対戦、優勝を目指すことになる。

「私大を倒したい。この思いはチーム全員が抱いている。奈産大・阪南大にはこの年も勝ち点争奪戦を繰り広げたい。私大に劣るスピード・パワーを補うために高知での春季合宿がスタートした。」



今年から新エースとして期待がかかる安井(3月4日・京産大グラウンドで撮影＝濱田直毅)

### SPORTS

## 新生フオルサ始動 決勝T出場決める

フットサル 兵庫選手権

兵庫フットサル選手権。第1試合を7-1で快勝したフオルサは第2試合が3月9日、北神戸田園スポーツアリーナで行われ、1位での決勝トー



試合終了間際に同点ゴールを決めた上原(3月9日・北神戸田園スポーツアリーナで撮影＝深江友樹)

ナメント進出を決めた。フオルサの新シーズンが開幕した。昨シーズンの主力はほぼ残留するが、4年生は就職活動でなかなかチームに帯同できなくなる。この試合は3年生までのメンバーで出場。4年生がいない中でここまで戦えるかを試す機会だった。

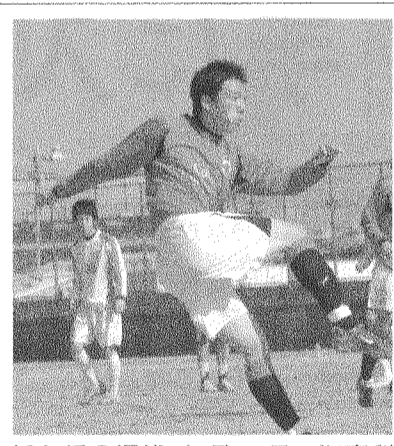
試合開始のホイッスルとともに、フオルサが試合を支配する。パスを回すフオルサと、カウンターを狙うL'orient、試合の構造はシンプルなものだった。先手を取ったのはフオルサだ。前半11分にA上原(エース・トナメントに向けて「も

では体力強化に重点を置いた練習を重ねた。オープン戦は序盤こそ寒さの影響もあり結果が伴わないこともあったが、試合数を重ねるごとに投球やスイングに鋭さが出てきた。

投手陣では安井(経営・3年)にかかる期待が大きい。「今年は自分からならなくてはならない。勝ちにこだわりたい」とエースとしての自覚は平久。合宿では新変化球の習得に取り組み、投球の幅が広がった。開幕投手に向けて万全の状態だ。また、内田(経済・1年・濱本(発達・2年)の台頭が大きい。2投手ともオープン戦では中継ぎで安定した投球を披露。監督の信頼を勝ち取った。

野手陣では4番を打つ下野(経済・3年)がキーマンとなる。昨秋のリーグ戦でベストナインに選出された主将は今季も打撃・守備両面でチームをけん引する立場だ。「優勝したい。10

## サッカーOP戦 合宿で手応え、上位うかがう 監督「1点にこだわる」



新主将の湯浅(3月15日・海軍科学グラウンドで撮影＝深江友樹)

平成20年度関西学生サッカーリーグが4月5日に開幕する。2部Aブロックに所属する神戸大の初陣は26日、天理大戦だ。昨シーズンは3部3人勝ち戦に回るなど、この数年不振が続く神戸大。来シーズンに向けて練習試合を重ねている。

「昨シーズンは1点差の試合で悔しい思いをしてきた。1点にこだわらざるを得ない。そんな北口監督の狙いとは裏腹の試合が続く。」

3月15日、主将候補が挑んだ阪大戦。8日、サブ組が出場した兵庫教育大戦と

打点以上あげたい」とチームの勝利を誰よりも渴望している。

オープン戦では相手にリードを許し、点差を追いかける試合展開が多かったが、先取点を奪い逃げ切り体制に持ち込めば必ず勝利はあるはずだ。(伊田一平)

年)がゴール。しかし、これから試合の流れが変わる。立て続けにカウンターから左サイドを破られ、逆転を許してしまった。

「僕らは本来カウンターを狙うチーム。なのに今日のは、慣れないパスでの攻めをさせられた。今年からキャプテンマークを巻くP東中(発達・2年)は試合を振り返る。

後半に入っても格下相手に苦しんだが、試合前のミーティングが同点ゴールを生み出す。「シュートにはファー(逆サイド)に話めるのを徹底させた(上原)。後半17分、シュートのごぼれ球にスライディング。決めたのは、ファーに結んでいた上原だった。

4月22日に行われる決勝トーナメントに向けて「も

も格下相手だったが、試合終了間際に決勝点を献上して敗れた。

それでも3月中旬に行われた春合宿では、かなりの手応えがチームにあった。「攻めが単調でなくなったし、ボールに対して参加する選手が増えた」と指揮官は話す。だからこそ、「しんどい試合をリーグ前にして良かった」と、頭を切り替えている。

「上位争い、具体的には4位と、湯浅新主将(発達・3年)は今シーズンの目標を掲げる。そのために「まずは初戦に勝つ、それで勢いに乗りたい。主将は最終ラインからチームを鼓舞。テクニシャン揃いのムベージまで。」

新歓フェスタ 今年4月13日に神戸大アメフト部と男女ラクロス部が主催する新入生歓迎フェスティバルが、今年も4月13日に行われる。神戸大の新入生は当日、甲南大との定期戦をスタジアムで無料観戦することができ、会場はメインスタジアム。詳細は各部門ページまで。

## 優秀部員表彰式 史上初の女性団長に栄誉 岡田芙実さん



半世紀近い神戸大応援団の歴史で初めてとなる女性団長が誕生したのは一昨年の12月。女性らしいな第47代のメンバー。「チアリーダーをしたくて応援団に入った」という岡田芙実さん(国文・4年)はチアリーダーの役割を担い、団長として応援団をけん引した。1年間、多くの課外活動団体に大きな勇気を与え続けた功績を認められ、神戸大の優秀部員として表彰された。

初めての女性団長ということでプレッシャーも大きかった。リーダーとして追いつく理想と現実の違いに悩むこともあったが、周りの人の励ましで岡田さんを支えた。「私たちが応援して元気を与えるはずなのに、逆にいろんな部の人たちから元気をもらった。支えてくれた皆さんに感謝したい(岡田さん)。神戸大応援団の歴史にまた新たな数章が加わった。」

【伊崎春樹】

新入生の皆さん、神戸大への入学おめでとうございます。受験勉強を終えられ、一段落したところで、それでも一度しか訪れない大学生活、ぜひこの機会をせひぜひ有意義なものにし、楽しんでください。男子ソフトボール部は、今年も新歓フェスタを開催します。ぜひこの機会に男子ソフトボール部へ参加してください。男子ソフトボール部は、今年も新歓フェスタを開催します。ぜひこの機会に男子ソフトボール部へ参加してください。

**4月12日(土) 13時~新歓ソフトボール大会 18時~新歓鍋**  
**4月23日(水) 18時~新歓鍋**

**★学生 SoftBall = ¥0**

神戸大学体育会男子ソフトボール部 HP: [http://www.geocities.jp/kobeu\\_softballclub/](http://www.geocities.jp/kobeu_softballclub/)